韓亜（ハナ）高校　短期交換留学プログラム

Hana Academy Seoul　Exchange Program

어서 오세요 한국에 !!

Hana Academy Seoul

スケジュール

- 2018.5月　受入ホストファミリー募集
- 2018.11月～12月　受入生・派遣生　選考
- 2019.1.14~1.27　受入プログラム実施　高等学院にて
- 2019.3.21~4.3　派遣プログラム実施　韓亜（ハナ）高校にて

短期交換留学（受入・派遣）プログラム概要

高等学院では、国際交流事業の一環として2014年春より、ハナ高校（韓国ソウル）との短期交換留学プログラムを設置しました。これは、相互の生徒3名ずつを、それぞれ2～3週間ずつ派遣して通学させるプログラムです。相互の生徒にとって、とくに派遣生ならびにホストファミリーにとって、異文化交流のよい機会になることと存じます。プログラムの実施にあたり、ホストファミリーの募集、および派遣生の募集を、下記の要領で行います。日本と韓国の未来に、小さな橋を架ける試みに、あなたも応募してみませんか。

短期交換留学　受入

- ハナ高校から学院へ、毎年3名以内の生徒を1月～2月に2～3週間受け入れます。
- 滞在先は学院生の家庭（ホストファミリー）となります。
- 受け入れるハナ高校生は、日本語を履修している生徒の中から、日本語運用能力を基準に選抜されます。
- 日本滞在中の会話は原則的に日本語・英語となります。
- 短期留学生は、滞在期間中、一般の生徒と一緒に通学し、授業・課外活動・行事等に参加します。
- 費用　ホストファミリーが負担するものは　①滞在中の食費　②羽田空港への送迎　です。
- 受入生（ハナ高生）は通学交通費と小遣いを負担します。

短期交換留学　派遣

- 学院からハナ高校へ、毎年3名以内の生徒を春休みに2～3週間派遣します。
- 滞在先はハナ高校寮およびハナ高校生の家庭（ホストファミリー）となります。
- 派遣する学院生は、英語運用能力と学業成績を基準に選抜されます。
- 韓国滞在中の会話は原則的に韓国語となりますが、共通言語として英語を用います。派遣生は留学前に基礎的な韓国語を習得することが求められます。
- 短期留学生は、滞在期間中、一般の生徒と一緒に通学し、授業・課外活動・行事等に参加します。
- 費用　派遣生が負担するものは　①渡航費（航空運賃＋燃油サーチャージ）（約42000円）　②国内旅費（羽田空港まで）　③海外旅行保険料　④現地交通費　⑤小遣い・その他　です。
- 期間中の授業料・学生寮費・食費はハナ高校が負担します。

参加申し込み方法

ホストファミリー　募集について

募集時期　毎年4月～5月にホストファミリー募集があります。
（ホームルーム伝達事項、校内掲示等。）
各種国際交流プログラムのホストファミリーを一括募集します。
ハナ高校短期交換留学の受入時期は、毎年1月中旬です。

問合せ先　hana@list.waseda.jp　教務室生徒係（山崎）

派遣生　募集について

募集時期　毎年11月に派遣生募集があります。（ホームルーム伝達事項、校内掲示等。）
応募資格　学院（高校）１・２年生で異文化コミュニケーション能力に秀でた者
選抜基準　異文化コミュニケーション力・英語運用能力・学業成績（場合により韓国語力）
応募方法　①応募書類提出（2学期末試験後）
所定のMS Wordファイルに、次の4項目を英語で記入して送付します。
応募動機（400word）派遣生としての適性（400word）学院の代表としてハナ高校生に伝えたいこと（800word）日韓の政治・社会的状況に鑑みて、若い世代の人がすべきこと（ 800word）
②選考面接（12月中旬）
英語面接（個人・集団）　日本語面接（個人）

過去の短期交換留学　受入家庭の声　派遣生の声

毎晩お互いの気持ちを伝えようと全員で知恵を絞りながらの会話は、忘れていた一家団欒に繋がりました。 会話の中で文化の相違を見つける度に、驚き、笑い、笑顔の絶えない会話タイムがとても楽しみでした。韓国への興味も深まり、同時に韓国語、英語をもっと習得したい!と思うように家族皆がなりました。息子は頑張って英語で会話していましたが、時々伝わらない もどかしさはとても良い経験になったと思います。今回の受入れで、お金では買えない経験が一生消えない財産となりました。 もっとこの財産を増やしたい……と息子自身が感じてくれる様になった様です。日頃「オレには無理」「めんどう」と言っていた受入れ前には考えられない進歩です。 通常の生活では息子の意識を変えられずにいたので、受入れで意識改革となったのは驚きでした。 ホストファミリーに資格は必要ないため 英語力の不十分な我が家でもできましたが、きっと不便なこともあったと思います。またチャンスがあれば喜んで受入れたいですし、今度は留学もさせてあげたい!と以前より強く思っています。

（2017年度　受入家庭　保護者）

私はハナ高校の生徒と話をしている時間が最も楽しく感じた。特に仲良くなったのは、私の世話や案内をしてくれ、ルームメイトであり、さらにはホームステイも受け入れてくれた男の子だ。彼は、私にとってかけがえのない親しい友人になってくれた。そしてこれによって私は、韓国を自分の経験や感情に結びついた身近な存在として捉えることが出来るようになった。私が今まで知っていた「韓国人」は全て本や新聞やTV上にしか存在していなかった。そしてそれらのメディアを通して理解している「韓国人」は、不明瞭で負の感情がまとわりつき、近寄りがたい存在であることも多かった。しかし気が置けない友人ができた私はもはや、韓国との間に距離を感じることはなくなった。韓国について理解したいという前向きな姿勢が自然と身についたように思う。こうして韓国人の友達を持つことができたことは、今回の留学で最も意味のあったことであったと思う。

（2017年度派遣生　2年Ｈ組　長南直弥）

ハナ生がとてもフレンドリーに接してくれたことが挙げられます。校内ですれ違えば誰もがHi、こんにちは、とにこやかに声をかけてくれました。それだけのことが私にはとても新鮮でしたし、特に印象に残っているのは、初日に、恥ずかしげにこんにちはと声をかけてくれたクラスメートの女の子です。日本語の授業でも同じグループに入ってくれたり朝食や間食などを一緒に食べたりと、楽しい時間を過ごすことが出来ました。韓亜（ハナ）高校で知り合うことのできたかけがえのない友達に、3か月後のシンポジウムでまた会えるのがとても楽しみです。

（2017年度派遣生　2年Ｅ組　曽我部陽哉）